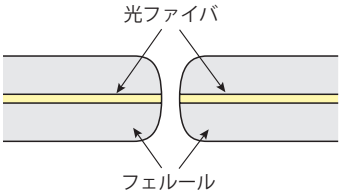
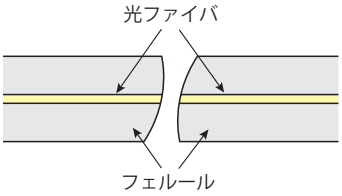
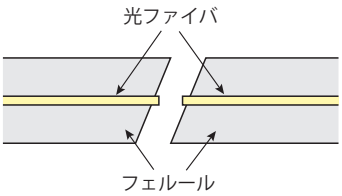
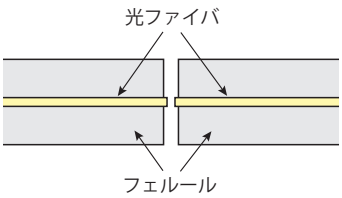
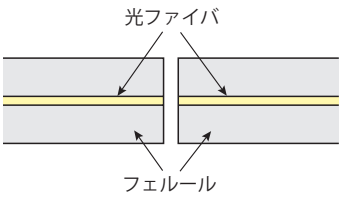
研磨方法

光コネクタの研磨種類とその特長

研磨種類		端面形状	特徴	適用コネクタ
球面	PC研磨 (Physical Contact)		・フェルール先端を凸球面状に研磨したもので、ファイバ同士が直接接触するため整合剤なしで接続可能 ・反射減衰量25dB以上	SC S2 MU LC FC
	AdPC研磨 (Advanced Physical Contact)		・PC研磨を行った後に低反射研磨および加工変質層を除去する仕上げ研磨を行ったもの ・反射減衰量40dB以上 ・ファイバ種類：SM、DSF	
	SPC研磨 (Super Physical Contact)		・PC研磨を行った後に低反射研磨を行ったもの ・反射減衰量40dB以上 ・ファイバ種類：SM、DSF	
	UPC研磨 (Ultra Physical Contact)		・PC研磨を行った後に低反射研磨を行ったもの ・反射減衰量50dB以上 ・ファイバ種類：SM、DSF	
斜め	APC研磨 (Angled Physical Contact)		・フェルール先端を斜め8°凸球面状に研磨したもの ・整合剤なしで接続可能 ・反射減衰量に最も優れる ・反射減衰量60dB以上 ・PC(SPC・UPC含む)研磨との接続互換性なし ・SMのみ	SC FC
	斜めPC研磨		・フェルール先端を斜めに研磨し、ファイバを僅かに突き出させることで、PC接続かつ優れた反射減衰量を得られるようにしたもの	MPO(SM)
直角	平面PC研磨		・フェルール先端は直角に研磨するがファイバを僅かに突き出させることでPC接続できるようにしたもの	MPO(GI)
	平面研磨		・フェルール先端を直角に研磨したもの ・接続面に空隙が生じるため接続には整合剤が必要	MTなど

コネクタ付光コードケーブルの伝送損失計算方法

コネクタ付光コード・ケーブルの伝送損失は、光コネクタの接続損失にコード／ケーブルの伝送損失を加え計算

条長	伝送損失計算値
50m未満	α(dB)
50m以上	$\alpha+\beta\times L$(dB)

α：光コネクタの接続損失(dB)
β：コード／ケーブルの伝送損失(dB)
L：コード／ケーブルの長さ(km)
※この計算値は目安であり、保証値ではありません。